

2章 市川市の地域特性

1. 市川市の概要

市川市は、千葉県の西部、江戸川を隔てて東京都と対峙しています。都心から20kmの圏内に位置し、文教・住宅都市として発展してきました。都心部と県内各地域を結ぶ広域交通網の集中する位置にあり、東西方向はJR総武線、京葉線などの鉄道や京葉道路、国道14号などの道路があります。

北部には梨栽培などの農業が盛んで屋敷林などの緑も多く、また学園も多い文教・住宅都市です。南部は、東京湾に臨み京葉工業地帯の一翼を担っているとともに、新しい都会的な住宅都市が形成されています。

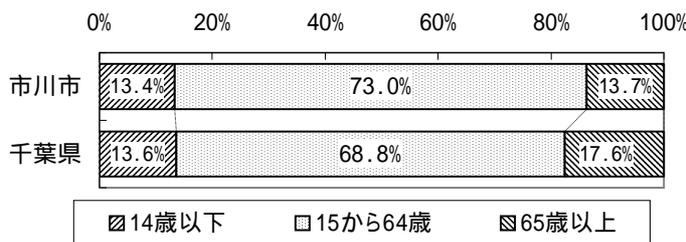


図表 2 - 1 : 市川市の位置

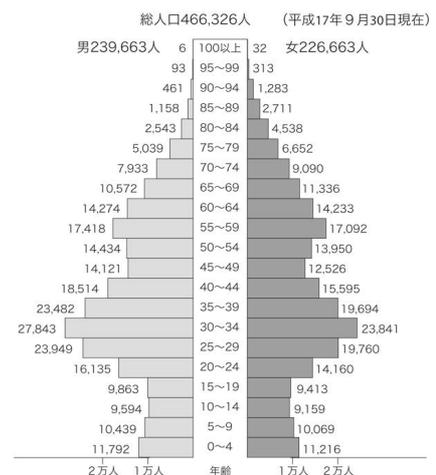
2. 人口動向

- ・市川市の人口は、平成17年10月1日現在466,408人で、千葉市、船橋市、松戸市について県内4番目に多く、千葉県の人口6,056,159人の7.7%を占めています。
- ・市川市の人口を年代順に見ると、昭和40~50年代前半にかけて年間1万人程度増加していましたが、その後は鈍化しはじめ、近年ではほぼ横ばいの傾向にあります。
- ・人口ピラミッドでは、30歳~34歳が最も多くなっています。
- ・市川市の高齢者率(65歳以上の人口)が、千葉県に比べ低くなっております。
- ・高齢化の進展は、近隣市に比べ緩やかですが、今後はさらに高齢化が進んでいくものとみられます。
- ・高齢化率が10%以上と高い地区は、主に総武本線北側の既成市街地の国府台から菅野、中山にかけた地区となっています。
- ・今後は、高度経済成長期にファミリー層人口の流入が進んだ南部地域などでも、高齢化が進むことが考えられます。

図表 2 - 2 : 年齢層別人口比率



図表 2 - 3 : 人口ピラミッド



図表 2 - 4 : 高齢者率

